

大田葬斎場火葬炉設備更新工事プロポーザル評価基準

1 趣旨

この基準は、大田葬斎場火葬炉設備更新工事の請負候補者選定に関する提案のうち、最も優秀な提案を行ったと認められる者を選定するために必要な事項を定めるものである。

2 評価方法

- (1) 各大田葬斎場火葬炉設備更新工事業者審査委員会委員（以下「委員」という。）が提案者毎に評価点をつけ、その合計点が高い順に順位をつける。候補者の選定は、原則、順位を第1位とした委員の数が最も多い者を最優秀者に選定し、次点の者を優秀者とするものとする。
- (2) (1)において、順位を第1位とした委員の数が同数の提案者が2人以上ある場合は、当該提案者の順位を第2位とした委員の数が最も多い者を最優秀者とし、次点の者を優秀者とする。
- (3) (2)において、順位を第2位とした委員の数が同数の提案者が2人以上ある場合は、当該提案者の順位を第1位とした委員の当該提案者に係る採点の合計点が最も高い者を最優秀者とし、次点の者を優秀者とする。
- (4) (1)から(3)にかかわらず、提案者が1者の場合においては、プレゼンテーションを行った後、各委員の審査及び合意でもって最優秀者としてすることができる。
- (5) (1)から(4)にかかわらず、委員全員の評価点の合計点が6割に満たない場合は、優先交渉権者の対象から除くものとする。

3 評価点

(1) 点数配分

各項目の点数配分は下表のとおりとする。

評価項目	配点
1. 会社内容	10
2. 燃焼計算及びシステムの考え方	4
3. 火葬炉設備	15
4. その他設備	3
5. 火葬炉設備配置	3
6. 計画提案書	45
7. 工事費	10
8. 維持管理費	10
合 計	100

(2) 点数の算出

① 技術評価

各審査項目において、次に示す4段階の判定による得点化方法とし、合計点数を4で除した得点を付与する。

判定	評価内容	採点の算出方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.75
C	標準的	配点×0.50
D	上記未満	配点×0.25

② 価格評価

工事費及び維持管理費に関する審査項目において、次に示す算定式による得点を付与する。

$$\text{価格点} = \text{配点} \times (\text{最低価格} / \text{当該価格})$$

※小数点以下第2位を四捨五入する。

別表 大田葬斎場火葬炉設備更新工事プロポーザル評価採点表

評価項目		配点	評価のポイント
会社 内容	経営状況、実績、従業員数等	10	経営状況、売上、経営規模評価はどうか。
			同規模の納入実績はあるか。
			火葬炉工事及びメンテナンスに十分対応できる技術者がいるか。
			十分なメンテナンス体制は確立されているか。
燃焼計算及びシステムの考え方		4	燃焼計算、各設備能力計算の正誤性が保たれているか。
			火葬炉設備フローシートに不備はないか。
			システムの考え方は合理的で優れているか。
火葬炉 設備	主燃焼炉の構造及び設備性能	3	構造、設備性能に問題はないか。燃料消費量、火葬時間はどうか。
			使用材料、材質について使用場所に適した特性及び強度と耐久性があるか。
			炉内台車は、無臭化対策が行われているか。修繕は容易か。
			火葬にあたりデレッキ操作等をせず、遺体の尊厳性を保つ工夫があるか。
	再燃焼炉の構造及び設備性能	3	構造、設備性能に問題はないか。燃料消費量はどうか。
			排ガス処理は合理的か。排ガスと再燃バーナー火炎が十分に混合攪拌できるか。
			使用材料、材質について使用場所に適した特性及び強度と耐久性があるか。
			十分な滞留時間が取れる容積及び構造か。
	燃焼設備	3	主燃バーナーは長炎・狭角を形成できる構造か。十分な耐久性を有しているか。
			主燃バーナーは火葬を行うための十分な能力を有しているか。
			棺・遺体等を火葬する空気を安定して供給できるか。
			再燃バーナーは短炎・広角を形成できる構造か。十分な耐久性を有しているか。
			再燃バーナーは排ガス処理を行うための十分な能力を有しているか。
	排気系統	3	排ガス冷却設備は瞬時に 250℃以下に冷却でき、ダイオキシン類等が再生しない構造か。
			集じん装置は公害防止基準値を満たす設備、構造であるか。
			集じん装置は排ガス量に対応でき、保守点検は容易か。
			通風設備は排ガス量に対応した十分な容量と耐久性を有しているか。
			排気筒は騒音対策、降雨、台風、大気拡散を考慮した構造になっているか。
	計装設備	3	運転管理に必要な電気設備、計装設備は計画されているか。
			温度、炉圧など燃焼制御機能は適正か。
			運転操作は容易か。
その他 設備	台車運搬車及び柩運搬車	3	構造、機能及び美観的に優れているか。
			移送がスムーズに行え、駆動音が会葬者等への配慮がなされているか。
			柩の運搬や転載が少人数で安全に行えるか。
			柩の運搬や収骨に際して会葬者に対する安全性に問題はないか。
火葬炉設備配置		3	火葬炉設備の配置レイアウトに無理はないか。
計画提 案書	火葬に関するコンセプト	5	火葬に対する考え方は適切であるか。
	炉設備の型式・特徴	10	構造、設備性能は問題ないか。他社にない優れた特徴があるか。
	保守管理の考え方と体制	10	保守管理の考え方、従事者等の教育方針等対応が十分なされているか。
	安全及び緊急停止時・災害時の対応	10	安全対策、火葬中の緊急停止時や災害時の対応（実績）は万全か。
	環境に関する取組み	5	排ガス、臭気、騒音、振動などの十分な環境対策がなされているか。
	コスト縮減について	5	具体的で実現可能な方法でイニシャルコスト及びランニングコスト縮減の対策がなされているか。
工事費		10	
維持管理費		10	